

遊ぼう！ 食べよう！ 癒やされよう！

お散歩 MAP

GWC 就活事情

都会のオアシス！

女子大 LIFE ♥

GWC
Gakushuin Women's College
EXPRESS
—— 学習院戸山発 ——



vol.2
2013 summer

GWC EXPRESS ご案内 ▶ 2 女子大 LIFE ▶ 3 ボランティア ▶ 5
お散歩マップ ▶ 6 人気授業 ▶ 8 就活事情 ▶ 10 編集メンバー紹介・編集後記 ▶ 12

「もつと知りたい!」に応える 学習院女子大学 学生発の広報紙



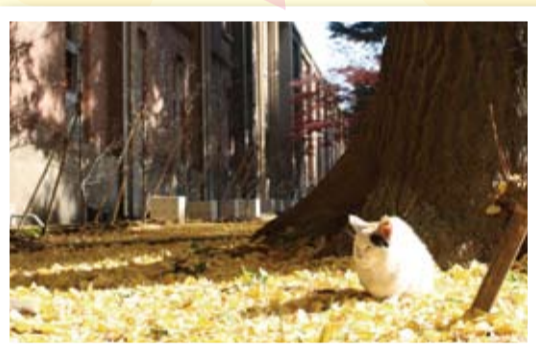
「友達みんなでサブライズパーティができる互歌会館が好き!」



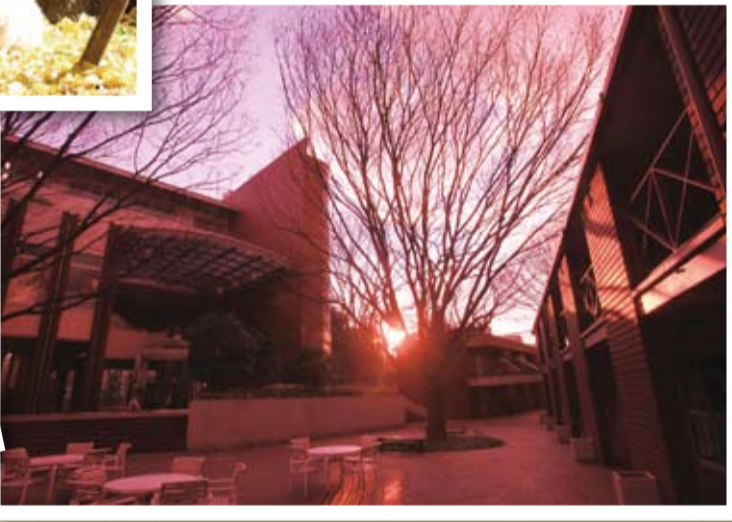
「英会話楽しいよ」



「たのしい時間です!」



「女子会ういる♡」



「学習院女子大学って本当はどんな大学なのだろう?」。皆さんが心に抱く「?」に応えたいという思いから、GWC EXPRESSは生まれた。本学に関心を寄せてくれる受験生がいる一方で、大学の魅力をより深く伝えたいと願ってやまない在学生。両者の願いをかなえる一つの方法、それがこの広報紙制作である。本紙は、有志が集まった私たち学生記者が主体となり、紙面の企画・取材・執筆・デザイン構成に至るまで、全ての制作工程に携わっている。週に一度の編集会議では互いに意見を出し合い、テーマごとに各グループに分かれると、メンバー内でも幾度となく打ち合わせを重ね、細かな作業を進めた。こうして約4カ月をかけて、本紙は完成した。紙面を読み進めていくと、興味深い情報に度々出会うだろう。本紙には、大学の公式パンフレットにはない、学生にしか伝えることのできない本学の新たな一面が数多く紹介されている。私たちは、こうして学生目線で伝えられる情報こそが、皆さんの「?」を解決する重要なヒントになると確信している。

昨年の創刊号に続き、今年度は第2号。内容もデザインも一新し、第1号以上に充実したラインナップをそろえた。私たちの知っている学習院女子大学の魅力をありのまま伝えられれば幸いである。



学生生活 p3-4

「キャンパスライフってどんな感じ?」。本学生のファッションナップから、学生生活をのぞいてみよう。

授業 p8-9

「大学では、どんなことを勉強できるのだろうか?」。本学の受講経験者が語るリアルな情報は見逃さない。

就職活動 p10-11

「就職に強いのは本当なの?」。内定者・OGインタビューからキャリア指導まで、就活最前線を徹底取材。

お散歩マップ p6-7

「この後、何をしようかな?」。きょうからでもすぐに役立つ、アクティブな放課後の過ごし方を大特集。

震災ボランティア p5

「つながるって何だろう?」。ボランティア活動について興味のある方、詳しく知りたい方は要チェック。

石澤学長からのコメント



学習院女子大学長 石澤靖治

1957年生まれ。立教大学社会学部卒業、ハーバード大学ケネディ行政大学院修了(行政学修士)。ダイヤモンド社、週刊ダイヤモンド記者を経て、ワシントンポスト極東総局記者、ニューズウィーク日本版副編集長。2000年より学習院女子大学助教授、2002年同教授、2011年から現職。博士(政治学)。

大学では、講義を聴いて理解し、疑問や興味をもったところを自ら調べて考え、まとめた上で試験に臨んだりレポートを書いたりする。そうした行為は、実はメディアの活動と重なり合うところがある。大学では主として理論や歴史を扱い、メディアは事実を追うという点で異なる。しかしながら、学生は受動的に講義を聴くのではなく、自ら問題点を見つけて何が求められるように、メディアにおいてどのような視点から何を取り扱うかが問われる。社会は学生にコミュニケーション能力を求めているが、メディアの活動はコミュニケーションそのものである。

そんなことを考えていたところに、毎日新聞がメディア制作を通じて本学学生を指導してくれるという。そこで昨年、このGWC EXPRESSのvol.1の発行に至った。

そして今回のvol.2である。当初は昨年の感覚を取り戻すまでに時間がかかったようで、ちよつと心配した。だが次第に前回の経験を土台にして活性化していき、最後には昨年にはない形ものが出来上がった。そのがんばりに敬意を表したいと思う。



GWC Collection
2013 in Summer

学内のおしゃれガールズを
スナツプ!!

本学の学生はファッション誌CanCam系のファッションのイメージが強いが、実はいろんな雰囲気の子がいる。今回は「かわいい系」でも系統が違う6人を厳選。それぞれの異なる「かわいい」に注目!

style 3



ナチュラル
森ガール

鈴木理絵 (日本文学学科 3年)
華道部
「森」 すぎず程よいガーリーテイストが好き。スカートもアクセサリも全てお花で統一! キメすぎない、ゆるかわファッションが一番落ち着く~

style 2

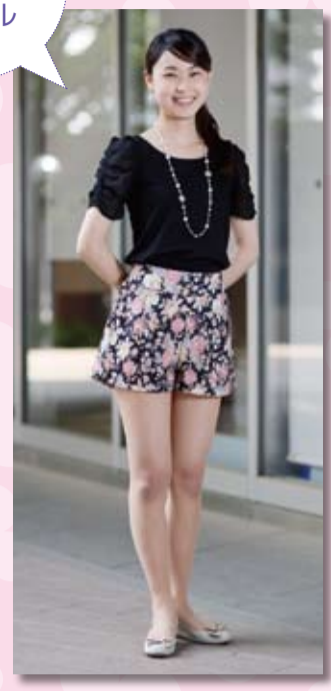


クラシック
スタイル

菅原倫子 (日本文学学科 3年)
華道部
大学で「チェックの子」として有名みたい(笑)。のどめが着ていたYORKというチェック柄ブランドにハマって……。このレトロリュックは兄からのハンガリー土産♪

ザ・
女子大生
スタイル

style 1



関登紀枝 (国際コミュニケーション学科 2年)
表千家茶道部、学祭実行委員企画部
袖がシフォンになっていて、Tシャツなのにおしゃれに着こなせるところが気に入る! 脚がキレイに見える形のショーパンは今年のトレンドでもある大きな花柄がポイント

style 6

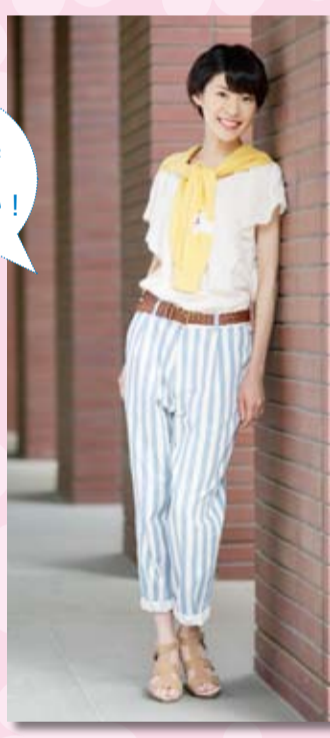


清楚&
お嬢様ルック

鈴木萌美 (日本文学学科 4年)
表千家茶道部、きもの文化愛好会
パリの様な雰囲気落ち着いた姫系が好き。「axes」というブランドの洋服をよく着る! 特にブラウスは色々着回せて便利。今日は夏らしく白と青で!

個性的で
さわやか!

style 5



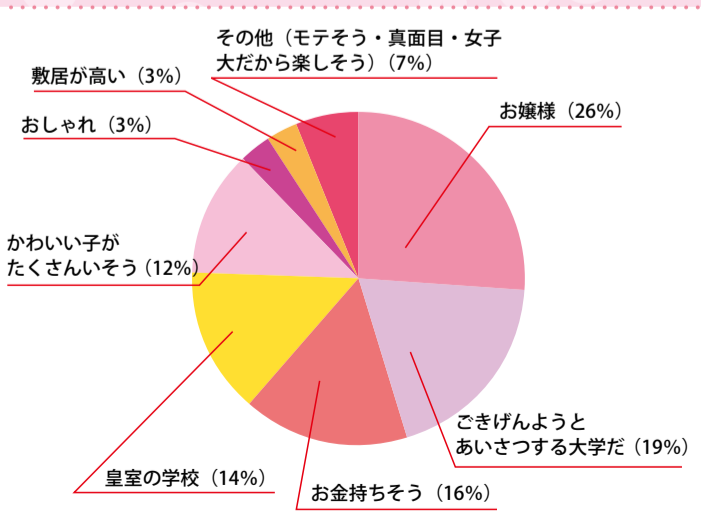
菊地真衣 (日本文学学科 4年)
放送部、弓道サークル
カーディガンの袖から白熊が見えているところがポイント。太めの水色ストライプのパンツは見つけて即買い! 氷菓系「しろくま」のイメージ

コンサバ・
ドリー

style 4



乾伽南 (日本文学学科 3年)
華道部、ベリーダンスサークル
お菓子の様なドールテイストが大好き! キレイめなのにキャンディみたいなところがツボのこのワンピースはディテールにもこだわりがあって気に入る!



在学学生157人に対しアンケートを実施し、実際に言われたことのある「学習院女子大のイメージ」を1人三つずつ挙げてもらった。一番多く挙げたのは「お嬢様」というイメージだ。
本学が「お嬢様の通う学校」であるという世間の認識や学生自身の認識は強いようで、アルバイトの面接の際に「門限は大丈夫ですか?」と質問をされたことのある学生もいるそう。
本学を「お嬢様学校だから私にはきつと合わない……」などと思っている受験生の皆さんに知ってもらいたい。お嬢様っぽい子も確かにいるけれど、実際は本学に通っている学生の多くは、ごく普通のどこにでもいる女子大生である。地方から出てきて、ひとり暮らししている在学生も少なくない。
二番目に挙げた本学独特のあいさつ「ごきげんよう」について由来も含めて、次ページで詳しく紹介しているので、一緒に目を通してほしい。

「学習院女子大 って〇〇でしょ?」
実際に在学学生が言われたことのある〇〇をアンケートしてみた!

ひとり暮らし 始めました

なんと学校まで徒歩5分！

泉田弘美（長崎県出身）
日本文化学科3年

——寮などもある中、なぜひとり暮らしを？
大学から徒歩5分で通えてセキュリティもしっかりとしたマンションを見つけたので決めました！

——大変なこと、良かったことは？

自分で家事をやらないといけないので大変ですが、母親がいかに大変なことをしていたか知ることができて良かったし、自信につながってきます。また、門限や規則が無いから友達とご飯を作ったり、夜遅くまで語り合うことができます。

——ひとり暮らしを考えている高校生に一言！

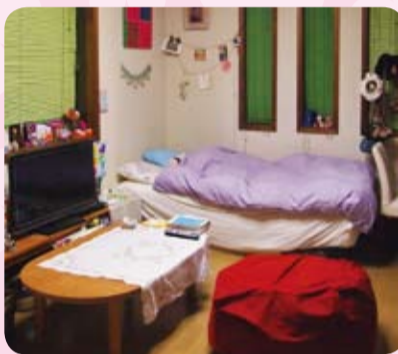
セキュリティがしっかりしているか、近所が物騒ではないかを確認してください。そして物件をいくつも見て慎重に決めましょう。ホームページで見られる写真と実物ではだいぶ違うケースもあるし、大家さんとの相性なども含めて実際の雰囲気

をチェックすることが大切です。なるべく一人で決めずに、家族の方などと相談してくださいね。

オススメメニュー



パパッと簡単にできておいしいメニューといえば、さっぱり和風パスタ♪ひとり暮らしでお料理の腕もあがりますよ！



「あの門の奥はどんな世界？」。

気になるひとり暮らしから、ちまたでうわさのあいさつ"ごきげんよう"に至るまで、公式の大学パンフレットでは分からない、緑あふれる学習院女子大学の謎と魅力を大公開！



自宅から学校まで電車で5分！

玉手満帆（福島県出身）
日本文化学科3年

——寮などもある中、なぜひとり暮らしを？

寮は規則が厳しく、ご飯付きのところもあるので……

——仕送りは？

家賃込みで大体月12万円くらい。アルバイトで稼いだお金は部活や娯楽に。

——ひとり暮らしで大変だったことは？

風邪をひくと買い出しに行けないので食料や薬、ティッシュが切れると死活問題（笑）

——防犯で気を付けていることは？

エレベーターで男性と一緒にいたらあえて違う階で降りてフェイクしている。

——ひとり暮らしを考えている高校生に一言！

ひとり暮らしは家事が大変ってイメージがあるけど、ワンルームマンションなら実家の自室と変わらないし、洗濯の量も少ないので思ったより楽。始めてしまえば楽しいことばかり！ナチュラルでリラックスできる空間を演出しました。ベッド下などのデッドスペースを有効活用しています。



学習院女子大生の * オススメの本・映画・スポット *

本

- 「永遠のゼロ」（百田尚樹）講談社文庫
- すごく感動できるし、すごくリアル
- 「オンリーワン〜ずっと宇宙に行きたかった〜」（野口聡一）新潮文庫
- 夢を持っている人に読んでほしい
- 「Good Luck」（アレックス・ロピラ、フェルナンド・トリアス・デ・ペス）ポプラ社
- 本が嫌いな私が唯一スラスラ読めた！

映画

- 「ブラダを着た悪魔」（2006年・米）
- 超メジャーだけど何度でも見られる
- 「アナスタシア」（1997年・米）
- 何年も前の作品ですが素晴らしい作品なのでぜひ！
- 「ドラゴンモンキー酔拳」（1978年・香港）
- 疲れているときに見るとポジティブになれる！

スポット

- 横浜
- アイラブ横浜♥
- 新宿御苑
- 旧華族女学校としてのイメージにぴったり！
- 川越
- 城下町の面影があってすごくすてき！



「ごきげんよう」はどこから来たの？

「ごきげんよう」とは、元来華族間では頻りに使われていた言葉だ。後に「学習院（女子部）言葉」とも呼ばれ、華族の女子が多く通った華族女学校の名残を匂わせる。たった一言でさまざまな意味を持つ「ごきげんよう」。気持ちよく上品にあいさつしたいものだ。

となりの 守衛さん



佐藤衛さん
2008年2月から5年間、東京・目白の学習院大学で守衛を務める。今年4月から本学へ。月曜から土曜まで毎朝7時に出勤、午後4時過ぎまで。土曜は隔週の半日勤務。

本学を訪れるとまず初めに会う二つの門（正門、北門）を守るのが守衛さん。私たちが安心して学生生活を送れるのは守衛さんのおかげと言っても過言ではないだろう。守衛さんの一人に聞いた。

——本学の伝統である「ごきげんよう」というあいさつについてどう思いますか。
昔からの伝統なので素晴らしいことだと思います。
——本学の学生の印象を教えてください。
歴史のある学校なので、落ち着きがありしっかりとしたお嬢さんが多いと思います。
——この仕事をしていてうれしかったことはありますか。
学生の皆さんが気持ちよくあいさつを返してくれた時や、学祭など大きな行事が終わった時です。
——珍客はありますか。
珍客ではないですが、タヌキやガマガエル、数年前には大きなミドリガメが早稲田の坂から北門まで歩いてきたらしいですよ。弱っていたので助けてあげて、今は女子高等科の生物準備室で飼っているらしいです。
——守衛さんの学内お気に入りスポットを教えてください。
正門からの道です。植物と建物の色がマッチしていて、綺麗な色を醸し出していると思います。
——ありがとうございました。

学生パワー全開!

ボランティアでつながろう

さんさん広場



本学、立教大学、東洋大学など多数の大学が参加する学生ネットワーク「Joy Study Project」が、東京・新宿区社会福祉協議会との協働で行っている。毎月第2、3土曜日に集会室で行う子供の遊び支援・学習支援を主軸にした活動である。参加した学生は「ボランティアという感じがせず、気軽に参加できる」と楽しそうに語った。

桜3.11学校プロジェクト



津波の被害にあった地域の小中学校に桜の樹を植える活動である。桜を通じて津波の記憶を後世へ伝え、東北4県の人々のこころを結ぶことを目指す。現在、青森・岩手・宮城・福島県にある5校に植樹済みである。

物販—気仙沼クリームサンド—



宮城県気仙沼市で長く愛されているコッパン（クリーム、コーヒー、黒糖、くるみ、ゴマ、栗の全6種類）を販売。3日間で見事完売した。この活動が初参加だという1年生は、「売れていくのがとてもうれしい」と笑顔を見せた。



物販に参加するメンバーからは、「ボランティアに興味はあったけれども、高校では機会がなくて、大学生になったらやろうと思って入りました」「友達と一緒に知って、やってみたいと思った時に気軽に参加できるのが良いです」などの声を聞くことができた。ボランティアをしたいけれども、勇気が出なかった人にとってつながるわは、気軽に参加できるきっかけになっている。つながるわキャンペーン事務局 tsunagaruwa_member@hotmail.co.jp 代表 三浦 紅 (日本文化学科3年)

つながるわとは

東日本大震災を受け、本学生が復興支援のために発足したのが「つながるわキャンペーン」である。3年目を迎える現在の活動を紹介する。いずれも学生が主体的に企画・実行している。随時メンバーを募集しており、ボランティアに興味のある方はぜひこの記事を読んでいただきたい。

つながるわ

活動年表 Since2012～2013

2012年

- 8月25日 百人町さんさん祭り開催 in 新宿区百人町アパート
- 10月20～21日 大学祭にて
 - ・ラオス国際協力研修メンバーによる「桜アートメッセージ in 桜3.11プロジェクト」
 - ・つながるわ事務局による「つながるわ photo」
 - ・つながるわ個人賛同者による「東北・人・私展」
 - ・伊藤ゼミ・ラオス国際協力研修メンバーによる「和菓子販売」(岩手県宮古市田老町、田中菓子舗のもの)
 - ・村上タカシ氏 (一般社団法人 MMIX Lab) による『震災記録と記憶』展
- 10月24日 今橋理子 学習院女子大学教授特別講演会 「人はなぜ「桜」を植えるのか——震災復興と再生を願って」

- 10月31日 第3回桜3.11学校プロジェクト in 福島 (福島県いわき市永崎保育所)
 - 11月3日 「第3回桜3.11学校プロジェクト in 福島」出張展示 in 学習院大学大学祭
 - 12月20日 第3回つながるわカフェ (第3回桜3.11学校プロジェクト in 福島について)
- 2013年
- 2月17日 お鍋でほかほかさんさん冬祭り開催 in 新宿区百人町アパート
 - 3月10～12日 学習院大学ボランティアネット主催 ボランティアバス in 宮城県本吉郡南三陸町、宮城県気仙沼市
 - 3月11日 公益社団法人東京青年会議所主催 復興支援イベント 「被災地復興支援の道」(ボランティア参加)
 - 3月17日 第4回桜3.11学校プロジェクト in 仙台 (宮城県仙台市立岡田小学校)
 - 6月18～20日 気仙沼クリームサンド物販

学内外でボランティア活動に携わる学生達

8割をラオスの子供達の奨学金として寄付している。代表の池田愛さん(国際コミュニケーション学科2年)は、SFTへの参加をきっかけに、国際協力に関する授業を履修することはもちろん、有志のメンバーで勉強会を開催したり、学外の講演会にも参加するようになったという。

勉強したいと願うすべての子ども達が勉強できる世界に

STUDY FOR TWO 学習院女子大学支部(SFT)は、発展途上国であるラオスの子供達を支援する学生社会起業団体である。寄付してもらった不要な教科書を安価で再販売し、その収益の8割をラオスの子供達の奨学金として寄付している。

SFTは本学の公認団体ではないが、趣旨に賛同する学生が集まり、支部を立ち上げた。「女子大学」と聞くと、やや閉鎖的でおとなしいイメージを持つ受験生も多いかもしれないが、本学学生のボランティア活動は学内のみならず、世界へ広がっている。



小さなエコキャップで大きな支援を

ボランティア研究会(ボラ研)は、国内を中心に活動する学習院女子大学の公認団体である。現在のスタッフは10人。2012年度は、東京・調布市にある「にこにこキッズルーム」で、障害児の放課後活動の補助に携わり、本ページで紹介している「さんさん広場」の活動にも参加した。

ボラ研の数ある活動の中で、特に力を入れているのが、エコキャップ回収活動。本学内のみ箱の上に回収ボックスを設置し、回収されたキャップをNPO法人へ送っている。

代表の山口香緒里さん(国際コミュニケーション学科3年)は、

ボランティア研究会(ボラ研)は、国内を中心に活動する学習院女子大学の公認団体である。現在のスタッフは10人。2012年度は、東京・調布市にある「にこにこキッズルーム」で、障害児の放課後活動の補助に携わり、本ページで紹介している「さんさん広場」の活動にも参加した。



「ボランティア団体に所属していない学生にも、気軽にボランティアに携わってもらえる機会を提供していきたい」と語った。

大学生と高校生の違いはなんだろう。さまざまあるだろうが、そのひとつに“行動範囲”が挙げられる。

せっかく大学生になったのだから、学内だけにとどまるのはもったいない。学外の活動も含めての大学生生活。行こうと思えばどこへだって行ける。少なくとも、高校生のときよりは行動範囲が広がるはずだ。

まずは近場から。本学は周辺に飲食店や文化施設などが充実し、街全体がキャンパスと言っているいかも。最初は慣れない街に友達と繰り出すのも良いし、ひとり静かに自然を満喫するのも良い。この周辺マップでは、本学の学生が大学生活の中で見つけたオススメスポットを紹介。もちろん、本学周辺には魅力的な場所がまだまだたくさんある。

少し足をのびして、自分だけのお気に入りスポットを探してみては？

※お店の情報は7月27日現在の情報です。



遊ぼう! 癒やされよう!
食べよう!
お散歩MAP

6



お茶セット 450円
香り豊かで水色鮮やか、洗みの深い八女茶を使用したお茶セット。添えられた羊かんとの相性も◎。桜の茶碗が可愛い。

日本茶カフェ
茶々工房

体も心も癒やしてくれる日本茶の名店
大通りを1本離れた、静かな隠れ家のようなお茶の名店。落ち着いた店内では香り豊かな数十種類のお茶とご飯、お茶を使用した和風スイーツが和ませてくれる。お店で出されるすべてのお茶は無農薬の有機栽培の茶葉のみを使用し、体に優しく、心も温まる。

TEL 03-3203-2033
東京都新宿区西早稲田 2-21-19
営業時間 12:00-23:00
定休日 日曜・祝日
J R山手線高田馬場駅から徒歩10分
東京メトロ副都心線西早稲田駅1番出口から徒歩3分

おにぎりセット 750円 (昼メニュー価格)
コシヒカリを使用した手作りおにぎりのセット。トッピングの種類も豊富で、お茶の葉をみそ、柚子で味付けした珍しいお茶のトッピングもある。色々な味も楽しめ、女性にも人気のメニュー。



茶々パフェ 700円
抹茶寒天、ほうじ茶アイス、ほうじ茶黒蜜、茶パウダーなどを使用した茶にこだわったパフェ。サッパリとした味わいの大人のご褒美スイーツ。



7

麺屋 宗 (高田馬場店)

日本一に輝いた人気 No.1 塩ラーメン
落ち着いた和モダンな店内で女性一人でもゆっくりできる。客層の年代は幅広く、男女比は6対4。女性が喜ぶメニューも展開中。看板メニューの塩ラーメンは、福島県の7日間のラーメンイベントで、日本新記録樹立である9300杯という販売実績を持つ。

TEL 03-5876-7640
東京都新宿区高田馬場 1-4-21 サンパークマンション高田馬場 B102
営業時間 11:30-16:00 18:00-22:30
東京メトロ副都心線西早稲田駅1番出口から徒歩2分



味玉塩らめん 850円
看板メニュー。鶏ガラと魚介類をベースに、ヒマラヤのピンクロックソルトと対馬海峡の浜御塩を加えた、こだわりのスープが魅力。特製うめ酢をかけても美味。

8

Cafe SEDONA

米アリゾナ州の都市セドナをモチーフに
駅構内にあることを忘れさせる広々とした店内には、いたるところにセドナの写真が飾られている。ゆったりとした空間はとて居心地がよく、ランチタイムには学生やサラリーマンでにぎわう。今年の春まで本学の学生が働いていたそうだ。

TEL 03-5356-6552
東京都新宿区西早稲田 2-20-10 B1
営業時間 平日 7:00-20:00 土曜日 9:00-18:00
定休日 日曜・祝日
東京メトロ副都心線西早稲田駅1番出口から徒歩1分



黒みつきなごアイスモッフル 450円
一番人気のモッフル (お餅でできたワッフルのこと)。濃厚パナライスと一緒に食べるお餅の食感が新しい。女の子が好きな一品!



オムライスセット (ドリンク・サラダ付き) 800円
卵がトロトロしていて食欲をそそられる。オリジナルデミグラスソースとケチャップのダブルソースで2度楽しめる。



ZASSI CAFE 9

お洒落アットホームカフェ

客層は20~30代を中心に幅広い年代の方が来られ、男女比は半々。一人でも入りやすい和やかな雰囲気のあるお店。内装、外装共に可愛らしく雑誌を見ながらお茶したりご飯を食べたりと、ゆったりとした時間を過ごせる。



フレンチトースト 680円
温かいフレンチトーストに冷たいパナライスが絶妙。フワフワでカットしやすく、舌触りが優しい人気メニュー!



チーズケーキ 490円
チーズが濃厚で、ブルーベリーソースとシナモンとの組み合わせが新鮮!



TEL 03-3207-1560
東京都新宿区高田馬場 1-20-17 1F
営業時間 12:00-22:30
定休日 日曜日 (祝日は営業)
J R山手線高田馬場駅から徒歩5分

早稲田校

都立戸山高校

学習院女子大学
Gakushuin Women's College

北門

明治通り



石澤学長のイチオシ店!

1 リストランテ 高田馬場文流

学生街で本格イタリアン

シックで落ち着いた店内で、オシャレなひとときを過ごす。"食で文化交流"というコンセプトで作られた「文流」では、本格派も納得のイタリアンが楽しめる。

TEL 03-3208-5447
東京都新宿区高田馬場 1-26-5 FIビルB1
営業時間 ランチ 月曜日～日曜日 11:30-14:00
ディナー 月曜日～土曜日 17:00-22:30 (L.O.22:00)
日曜日・祝日 17:00-21:30 (L.O.21:00)
定休日 年末年始
JR山手線高田馬場駅早稲田口から徒歩 1分



2 早稲田松竹

新作もいいけど旧作もね♪

1954年に松竹の系列館として開館され、懐かしい映画を2本立てで中心で上映している映画館。1カ月前から何を上映するか予告されているのでチェックしてみよう。

TEL 03-3200-8968
東京都新宿区高田馬場 1-5-16
東京メトロ副都心線西早稲田駅 2番出口から徒歩 5分



3 新宿 諏訪神社

西早稲田のパワースポット

大きな鳥居が迎えてくれる。境内は静寂に包まれ、都会とは思えないほど喧嘩から隔絶された不思議な空間。創建から1200年という長い歴史をもつ。

TEL 03-3209-3835
東京都新宿区高田馬場 1-12-6
神社開門時間 6:00-16:00 (時期により異なる場合あり)
東京メトロ副都心線西早稲田駅 2番出口から徒歩 1分



あぶりサーモンアボカドごはん 900円
人気No.1。サーモンと甘くとろけるアボカドの相性抜群!

4 もぐら食堂

地下にある隠れ家カフェ

「ごはん+a」。「しっかりごはんを食べよう」をモットーに、旬の食材を使った週替わりランチが人気。ランチ時は社会人も多いが、女子大学生が客層のほとんどを占める。明るい店内は木目ベースで居心地が良く、オーナーが手掛けた内装がおしゃれ。

TEL 03-3200-5211
東京都新宿区高田馬場 2-14-6 スワンビルB1
営業時間 月曜日 11:30-23:30
火、水曜日 11:00-23:30
木、金曜日 11:00-24:00
土曜日 11:30-23:30
日曜日 12:00-22:00
定休日 第3日曜日
JR山手線高田馬場駅早稲田口から徒歩 3分
東京メトロ東西線高田馬場駅 6番出口 1分



キャラメルピスタチオラテ 480円
ほろ苦く甘いキャラメルラテにシナモンが香るピスタチオアイスが乗っている、メニューにはまだない一品。



さすが学生の街！
飲食店が
たくさんある～♪

大学の近くにあるなんて知らなかった！
気軽に行けるね！

5 戸山公園 (大久保地区)



早稲田大学

5 戸山公園

都内にある自然あふれる憩いの場
大学の目の前にある広大な都立公園。徳川家の大名庭園跡地。幅広い年代の人々が散歩やジョギング、スポーツを楽しんでいる。春は園内の箱根山で花見、秋は伝統行事の流鏝馬、冬はライトアップが見どころ。運が良ければ野良猫と会える。

東京都新宿区大久保3丁目 (大久保地区：左記写真)
東京メトロ副都心線西早稲田駅から徒歩 6分
東京都新宿区戸山2、3丁目 (箱根山地区)
東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩 10分
戸山公園サービスセンター
TEL 03-3200-1702
東京都新宿区大久保 3-5-1



Welcome to GWC

教えて！人気授業

学習院女子大学は、国際文化交流学部のみ単科大学だが、少人数だからこそできる参加型のカリキュラムが豊富にある。どの学科でも履修できる伝統文化演習では、茶道、華道、香道などを実際に体験しながら学ぶことができる。本学でしか学べない魅力的な授業を紹介しよう。

なんと、アフリカ・ルワンダと 同時中継して授業

国際開発論 I

ルワンダの開発、開発援助の活動を取り上げた授業で、ルワンダと同時中継して英語で授業を行っている。現地ですべてに携わっている政府関係者や職員をゲストスピーカーとして招いて、講義してもらう、という授業スタイル。ゲストスピーカーは、ルワンダの大臣や国際NGO団体のルワンダ支部マネージャー、JICA（国際協力機構）の日本人職員などさまざま。毎回ゲストスピーカーが所属している団体について予習しておくことが課題となっており、英語で講義を受け、発言するのは大変だが、日本では聴くことのできない現場の生の声を聞けることが受講生にとって魅力的だ。



本学側からみた同時中継の講義（上）
ルワンダ側からみた受講生（下）

日本でここだけ!!

平安スタイルで十二単の着付けを体験

伝統文化演習Ⅹ（有職故実）

有職故実（ゆうしょくこじつ）とは、貴族や武士の行事の行われ方や生活のしきたりなどを研究する学問のこと。本学の授業では、伝統的な年中行事について学びながら、いわゆる「十二単（唐衣裳装束）」の着付けを体験することで、古人の生活やものの考え方に触れることを中心としている。実際に着付けを体験してみると、想像以上に難しいことが分かるが、学生同士で協力し合うことによって理解を深めていく。大学の授業で指導の手間がかかる十二単の着付けができるのは、おそらく本学だけ。小規模な大学の強みだ。教室は活気にあふれていた。



源氏物語が執筆された当時と同じ着こなしを体験

（国際人の第一歩！）

海外研修体験記

本学の魅力の一つに、さまざまな国に行ける「海外研修」がある。開発途上国に行くバングラデシュ、中欧国際協力研修。語学の習得をメインとしたカナダ、メルボルン語学研修。そこには、実際にその国に行き、感じるからこそ得られるものが多い。今回はカンボジア、米ワシントン、ラオスの研修に参加した学生の声を紹介する。

カンボジア国際協力研修

豊國佳奈恵さん（日本文化学科2年）
期間：昨年9月上旬（12日間）
場所：ポイベト、シェムリアップ

この研修の魅力は、観光地化されていない地域に滞在することで、カンボジアの多様な面を感じられることです。国際協力に実際に携わっている方々から、現地の話を聞けたのは貴重な体験でした。

カンボジアといえば貧しい国というイメージをもたれることが多いのですが、実際はネガティブな面ばかりではありませんでした。メディアから得た情報で私達が正しいかと思いついて入っていることも、確かではないのだと感じました。

研修を通して、国際協力でのお金や必要なものを渡す直接的な支援は、緊急事態に求められることです。そして、その時期を終えたら現地の人々とともに問題を解決していかなければならないのだということ学びました。今は「自分ができることから始めてみよう」と前向きな気持ちで勉強しています。



カンボジア子どもの家で、お世話になったクンティンさんと

国際文化交流演習Ⅹ・Ⅺ [ワシントン・セミナー1・2]

加藤真帆さん（日本文化学科3年）
期間：昨年8月中旬～（約2週間）
場所：ワシントンD.C.

この研修の魅力は、普段なかなか訪れることのできない国際機関を訪問し、そこで実際に従事している方々の生の声を聞いて、現地を感じつつ、日本と米国の交流について学べることです。

国際社会が動いている現場で、実際に働く人から直接話を聞き、そこで仕事をしている方々の使命感や、日本人の互いの「信頼」を重視した丁寧な働きぶりをじかに感じることで、大きな刺激を受けました。

研修の準備では資料探しに、研修中は会話に苦労しました。当初は、買い物などの際に気が引けてしまっこともありました。実際には気さくな人が多かったため、「もっと英語を話せるようになりたい！」と、モチベーションが上がるきっかけになりました。



ホワイトハウスの前で、研修生と

ラオス国際協力研修

平野萌さん（国際コミュニケーション学科3年）
期間：昨年8月上旬（9日間）
場所：ソフバン村

この研修の魅力は、現地での活動を参加者が企画することです。活動に対し受け身の姿勢では見落としてしまうような点にも、企画を通して自ら気づくことができ、多くのことを学びました。

訪れたことのない国の様子を想像するのは容易なことではありませんでしたが、多くの文献を読み、ゲストを招いてお話をうかがうことで、その困難を乗り越えることができました。

研修中、特に印象的だったのは、水道もガスもない村での3泊4日のホームステイです。そこで人々がどのように助け合っているのか、どのようなところに幸せを感じているのかを知りました。また、人とのつながりの重要性や本場の「豊かさ」とは何かを考えるきっかけとなりました。



ソフバン村の家族と一緒に

教授にインタビュー

Interview



本学には日本文化学科、国際コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科の三つの学科がある。

それぞれの学科の違い、魅力とは何だろうか。各学科の教員に、学科の魅力や受験生へのメッセージを聞いた。



国際系学部の中で、日本文化を学ぶ

日本文化学科

福島直恭教授
【言語学専攻】

受験生の皆さんの中には、日本文化に興味はあるが、偏った勉強になってしまわないか心配……と悩んでいる方も多いのではないかと。福島教授に話を聞いてみた。「この学科は国際系学部の中にあり、いろいろな分野の教員がそろっているので、日本文化とはいっても必ずしも日本に限定した学習内容にならないところが魅力です」

本学は学生数こそ少ないが、一つの学問に縛られず多くの分野から柔軟に時間割を

組み立てることができるのが特徴だ。日本文化学科の学生でも、その気になれば英語をはじめとした他言語の勉強ができ、他学科の授業を履修して卒業の単位とすることも可能である。

最後に受験生へのメッセージ。「高校までの勉強と違って、大学では目標をもって主体的に学ぶということが何より大切です。がんばって合格してください」



日本を知り、世界を知る

国際コミュニケーション学科

畠山圭一教授
【国際政治専攻】

学科の魅力をズバリ畠山教授に聞いたところ、「学問領域を越え、国際関係・地域研究を一体的に学ぶ点。また、国際社会の仕組みを具体的な動きを身近に感じ、相互に比較することで深い学びができることです」と話す。

この学科は、国際的な面だけに視点を置いているわけではない。日本文化について国際的な視野から学ぶことで理解を深め、海外研修では国際機関を訪問し、文化交流・

国際協力の実態について見聞する事ができるところも魅力である。

受験生へ向けて、「国際文化交流のリーダーを養成することを掲げて、日本文化と国際文化と国際関係・文化交流を体系的に学べるユニークな大学であり、日本文化を大切にしながら世界で活躍できる志ある人材を求めています」と熱く語った。



実践的な英語力を身につける

英語コミュニケーション学科

ファリア グレン教授
【応用言語専攻】

米国出身の英語の教授にインタビューということで、少し緊張しながら研究室に向かった。恐る恐る英語で、日本語でのインタビューをお願いすると「いいですよ」と気さくに日本語で返され拍子抜け。ファリア先生は日本語もペラペラだったのだ。

穏やかな雰囲気、学生から人気のある先生だ。そんな先生に学科の魅力について聞くと、「日本文化に特化しているところ。実践的な授業を通して日本の伝統文化を学

べるところがいいと思います。学科の名の通り、英語でコミュニケーションをとる力を伸ばすことをミッションとしており、モチベーションの高い学生はガンガン伸びる学科だと信じています」

日本に長くいるからこそ日本文化の良さを教えることに対して喜びを感じているようだ。最後に受験生へのメッセージ。「将来、勉強や仕事、人生で役に立つような実践的な英語の力を伸ばしてください」

受験生のみなさんへ

「学習院女子大学に興味が出てきたけど、どの学科を選べばいいかわからない」。そんな受験生は多いはずだ。そこで、以下に“こんな人にオススメ”欄を設けてみた。学科選びの際の一つの参考にしてほしい。



日本文化学科

こんな人にオススメ!

国際交流をしていくうちに日本文化の良さに気がつき、日本についてもっと深く学びたい、と思っている人。日本のことだけでなく、世界から見た日本という視点に興味がある人。



国際コミュニケーション学科

こんな人にオススメ!

文化の違いから発生した国際問題を解決する力を身につけたい人。国際社会で活躍したい人。



英語コミュニケーション学科

こんな人にオススメ!

高度な英語能力を身につけたい人。英語をツールとして世界にものごとを発信したい人。少人数制の中で学びたい人。絶対に留学したい人。



〇月×日(月)直

徹底解剖！ GWCの就活サポート

学習院女子大学は、学生の就職活動に対しても、手厚いサポートを積極的に行っている。編集委員会が独自取材した、大学パンフレットにもインターネットにも載っていない、“目からうろこ”の本紙だけの情報が、このページには満載だ☆ さっそく見てみよう。

Q1 希望の業種は何ですか？

業種	割合
金融	20%
航空	20%
マスコミ	15%
公務員	10%
教育	9%
旅行	8%
化粧品	3%
フリーター	3%
その他	12%

1位：金融業界 航空業界
2位：マスコミ業界

考察 安定した職業という理由から金融業界がトップ。また、国際文化交流学部というだけあって航空業界や旅行業界が人気の傾向。続いて、アナウンサー、記者、編集者などのマスコミ業界。その他には、国際機関、NGO、着物関係など、大学で学んだことを生かすことのできる業種が挙がった。

Q2 就職活動に対して何かアクションを起こしていますか？

- ・学内のセミナー参加・資格取得
- ・SPI(筆記試験)対策
- ・英語の勉強
- ・社会人から話を聞く

考察 学内のセミナーに参加をしている人がほとんどだった。セミナーには、就職活動の基本部分から業界別の説明会など幅広くそろえられている。1年生から参加できるセミナーもあり、就職活動に対する意識が高くなっている。

また、セミナーだけではなく、留学生の日本語アシスタントをするなど、大学の授業以外からも学んでいるようだ。

在学生
100人に
聞きました！

在学生たちは、卒業後にどのような就職のビジョンを描いているのだろうか？ 1~3年生100人に聞いた。(アンケートは、対面記述形式で行った)

キャリア支援部インタビュー

私たちの就職活動を支援してくれるのが、キャリア支援部。数人のスタッフが懇切丁寧に対応している。本学ならではの就職支援の特徴について聞いた。

★インタビューを終えて
今回の取材を通して、キャリア支援部の本学就活生に対する姿勢を知り、就職率の高さの理由が見えてきたように思う。本学では学生数の少なさを利点に、学生一人一人に合った支援をし、学生のニーズに合わせた質の良い就職対策セミナーや各業界・各企業に関する多くの情報を用意している。

また、就活のための学生生活ではなく、4年間の学生生活の集大成として就活をこなしているところが、本学のキャリア支援の魅力ではないだろうか。大学受験を控えた高校生の皆さんに、充実した学生生活と万全なキャリア支援のある大学だと伝えたい。



仕事を漠然と考えていると、実際は思っていたものと違うこともあり。それでも自分にできることを考え全力を出してほしい。女性だからこそ大変なこともあると思いますが、責任感を持って取り組んでください。



大國マリコさん(写真左)

普段の生活で、相手の言いたいことや聞きたいことを理解し、自分の意見をきちんと伝えることができるように心がけてください。相手の気持ちになつて説明できるコミュニケーション能力が大切です。

長尾光敏さん(写真中)

後悔しないために、どうすればいいか自分で考えて積極的に行動してほしいと思います。就活のためだけに学生時代を過ごすのはもったいないので、さまざまなことに興味を持ってください。その情報の積み重ねが思いがけないところで役立つことがあります。

瀧澤真智子さん(写真右)

大学の規模が小さいことを生かした少人数制のきめ細かいサポートを行えることが本学の特徴です。

具体的に以下の2点が挙げられます。①学生一人一人の相談に親身になって対応し、適切なアドバイスができること②全体の様子や意欲を把握できるので、毎年、その年の就活生のリズムに適応したサポート体制をアレンジし、意欲をわき立たせるような働きかけができること——です。

また、本学は女子大学ですので、女子に特化した人気企業への対策セミナーやマナー講座も積極的に取り入れています。目の学習院大学のセミナーやOB・OG訪問に赴くこともできますので、そういった手厚いサポートを受けられることは、他の女子大学にはない特徴だと思います。

キャリア支援部として、就職活動に対するサポートは万全に整っていると我々も誇りをもって言えますので、是非活用してください。

大重麻衣さん (日本文化学科)

広島ホームテレビアナウンサー職



- ①わかりやすく伝えることを常に考え仕事をする姿がすてきだと思ったから
- ②小規模だからこそ、みんなに配慮がきく。個人的にOGを紹介してもらった
- ③気持ちを共有するような番組を作り、視聴者と距離の近いアナウンサーになりたい
- ④振り返れば納得するけれど、悔しかったこともあった。絶対後悔しないようにしてほしい

伊藤唯さん (日本文化学科)

TAKAMI BRIDAL ドレスコーディネーター職



- ①世話をするのが好き、ドレスが好きという自分の好きなものが詰まっていたから
- ②ブライダル志望の先輩が多く、所属している茶道部の先輩からたくさんの情報を聞いたこと
- ③お客様にとって一生に一度の結婚式の思い出が色あせることのないようなお仕事したい
- ④学生として楽しめることを楽しみ、いろいろなことにチャレンジしてほしい

小澤恵理加さん (日本文化学科)

三井住友銀行



- ①アルバイトの経験からお客様と会話を通して接する窓口で活躍したいと思った
- ②OGの方に2日間かけてグループで面接対策を指導してもらえる面接対策セミナー
- ③資格がないと仕事ができないという感じなので自分でレベルアップしていきたい
- ④人数が少ない本学だから共通の友達も増える。だからこそ活気があり、頑張れるいい環境だ

秋元桃子さん (国際コミュニケーション学科)

日本旅行



- ①1年間の(米国の)留学経験から、国際交流に関わる仕事をしたいという将来への目標が生まれた。国と国が交わるイベントの企画にも携わることができる法人営業職を選んだ
- ②OGからの手厚いサポートが受けられること
- ③海外の学生と日本の学生を交流させる企画に関わりたい
- ④本学には自分のやりたいことに集中できる環境が整っている。学生一人一人が生き生きとした充実した学生生活が送れると思う

2014
年度

内定者に インタビュー

2014年4月入社が決まった4年生5人に話を聞いた。

- 質問内容
- Q1 志望動機
 - Q2 就活中本学でよかったこと
 - Q3 将来の目標 (主に仕事での)
 - Q4 読者へ一言

渋谷夏美さん (国際コミュニケーション学科)

全日本空輸 (ANA) CA 職



- ①最初は憧れからスタート。会社全体の思いをお客様に届けるCA (キャビンアテンダント) に魅力を感じた
- ②航空業界を目指す仲間が多い。ライバルではなく仲間として一緒に頑張れた
- ③世界に発信するだけでなく、まずは日本のお客様の気持ちをくみ取ってサービスしたい
- ④就活は自分の長年の思いを企業に伝えられる機会だと思って楽しんでほしい

世界で活躍する OG

今春本学を卒業しエミレーツ航空に入社した、影山理子さん (英語コミュニケーション学科) にお話を伺った。



「グローバル企業に就職するための対策はどのようなことをしましたか」との問いに、影山さんは「英語力を向上させるための勉強をしたり、幅広い文化の知識を得るようにしました。そのために、大学ではイスラム文化論や中国文化論などの授業を履修しました。また、インターネットでニュースの国際面を見たり、CBSやBBCなどの海外のニュース番組をチェックして、海外で起きている出来事にアンテナを張っていました」と、国際的な視野を広げる勉強を続けたと語った。

「本学の外国語教育は役に立ちましたか」という質問には、「非常に役に立ちました。英語力を向上させるために、大学の授業や課題を徹底的に活用していました」と高く評価していた。

影山さんは現在、中東ドバイで研修を行っており、このインタビューもメールでやりとりした。実際にグローバル企業で働いてみての感想を尋ねたところ、「やはり、自己主張と他国の文化への理解が必要だと感じました。英語ができるのは最低限のハードルで、英語に加えて何が重要になってくるので、今のうちにたくさんの経験を積んでおきましょう」とアドバイスをいただいた。影山さんは研修後、キャビンアテンダントとして世界の空で活躍する予定だ。

* * *

影山さんのお話から、グローバル企業で働くためには、幅広い視野を学生時代に身につけることが大切だとわかった。本学では、英語教育に力を入れているだけでなく、「国際文化交流のエキスパートになる」というモットーを掲げている。グローバル企業への就職に興味のある受験生は、ぜひ本学で国際的な教養を身につけてほしい。



編集メンバー紹介



鶴飼 桜子 (日本文化学科・2年)
貴重な経験ができて楽しかったです



塩澤 都 (日本文化学科・1年)
本学の就活がよく理解できました



加藤 希美 (日本文化学科・2年)
本学をもっと好きになりました！



乾 伽南 (日本文化学科・3年)
雰囲気の良いを感じて下さい！



阿部 希実 (日本文化学科・3年)
女子大の秘密をキュッと濃縮！



若井 亮帆 (日本文化学科・3年)
第2号無事発行バンザイ！



菊地 真衣 (日本文化学科・4年)
表紙は顔！妥協せず作りました



五島 ゆりか (日本文化学科・2年)
貴重な体験ができて楽しかったです！



荒川 里佳子 (日本文化学科・4年)
ぜひ入学して下さい！



今村 優里 (日本文化学科・1年)
GWCの良さがわかりました！



山本 理央 (日本文化学科・1年)
本学ならではの魅力を集めました



佐藤 ちひろ (日本文化学科・3年)
ご縁に感謝！！



小坂 たくし (国際コミュニケーション学科・2年)
今回も学ぶことが多かったなあ



小林 実果 (日本文化学科・1年)
さまざまな魅力をお届けしました！



大村 恵美 (国際コミュニケーション学科・4年)
じっくり読んでくださいね



若尾 果鈴 (国際コミュニケーション学科・3年)
本学生のリアルな声を見て下さい



池田 愛 (国際コミュニケーション学科・2年)
本学を知ってもらえれば幸いです



長尾 麻菜美 (日本文化学科・4年)
手と手がつながるデザインがこだわり



長尾 有里子 (国際コミュニケーション学科・3年)
大変だったけど、これも青春です☆



星野 由衣 (国際コミュニケーション学科・4年)
素敵な写真が撮れたYO！



植村 美香 (日本文化学科・2年)
とても魅力的な大学ですよ！



小野 芽生 (国際コミュニケーション学科・3年)
まもなく終点です！




浅見 未来 (日本文化学科・3年)
先輩方みたいに私も就活頑張るぞ！

編集長 CAP
副編集長

GWC EXPRESS 学習院戸山発 vol.2

2013年7月27日

発行：学習院女子大学

〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1 TEL.03-3203-1906 (代)
http://www.gwc.gakushuin.ac.jp

編集：GWC EXPRESS 編集委員会

編集協力：毎日新聞社、ノラ・コミュニケーションズ

題字ロゴ：菊地真衣

表紙・p2 正門撮影：山田慎二

編集後記

初めての試みで手探りの中、目の前のことを精一杯こなし、なんとか作成した昨年の広報紙。もっと多角的に取り上げ、膨らませたかったという後悔もあった。そんな経験を踏まえ、今年ももっと飛躍できるのではないかと、そんな気持ちから今回の制作はスタートした。企画、撮影、執筆すべて自分たちで行うことはとても難しく、いくつかの壁にぶつかったが、編集部一同の協力により乗り越えることができた。受験生や本学の学生などさまざまな人に楽しんでいただけるよう、読みやすさを重視したデザイン、深く切り込んだ内容と、大きく成長したGWC EXPRESS vol.2を届けられることを本当にうれしく思う。

本紙の制作に携わってくれた編集部の方々、サポートしてくださった毎日新聞、ノラコミの方々、石澤学長、学生部の方々、そしてこの広報紙を手にとってくださった全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。

(編集長・岩井亮帆)